

Citation: Kujan O, Glennly AM, Oliver RJ, Thakker N, Sloan P. Screening programmes for the early detection and prevention of oral cancer. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2003, Issue 4. Art. No.: CD004150. DOI: 10.1002/14651858.CD004150.pub2.

CRG名: Oral Health

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 23 May 2006

Clib issue No.; N/U: 2008 issue 1; -

背景: 例えば乳癌や子宮頸部癌のような主要な癌のスクリーニングプログラムを行う場合は、死亡率の減少に効果があり、かつ、それらの癌の罹患率の減少にも寄与している。しかしながら、口腔癌では、罹患率の増加と死亡率の増加がグローバルな健康問題となっているにもかかわらず、口腔癌に関して、集団を対象とした全国レベルのスクリーニングプログラムは行われていない。今日まで、医療提供者の日常診療の中で、口腔癌に対するどのようなスクリーニングが適切なかが議論されているところである。

目的: 口腔癌死亡率減を基準に最近のスクリーニング方法を評価する。

検索戦略: 電子文献情報データベース(MEDLINE、CANCERLIT、EMBASE、コクラン・セントラル・レジスター・オブ・コントロールド・トライアルズ(1966年~2005年7月、コクラン・ライブラリ Issue 3, 2005))を検索し、さらに関連する論文の参考文献を検索し、特定の雑誌をハンドサーチし、論文の著者に接触することで出版された情報と未発表のデータを入手した。

選択基準: 口腔癌、あるいは口腔病変の前駆症状のスクリーニングとして、視診によるもの、またはトルイジンブルー染色によるもの、または蛍光イメージによるもの、または、ブラシによる生検検査によるものの、ランダム化比較試験。

データ収集と分析: 検索によって112の文献を見出し、レビューした。レビューアの組み入れ基準に合致した、口腔癌のスクリーニング・ストラテジーに関するランダム化比較試験がひとつ見出された。妥当性の評価、データ抽出、統計的評価は2人の独立したレビューアによって行われた。

主な結果: 1報の10年間のランダム化比較試験を採択した(13の集団、191,873人の参加者)。スクリーニンググループ(16.4/100,000人・年)とコントロールグループ(20.7/100,000人・年)との間で、年齢調整した口腔癌による死亡率に差は認められなかった。興味深いことに、ハイリスクグループでの介入コホート(29.9/100,000人・年)と、コントロールアームコホート(45.4/100,000人・年)との間で、34%の有意な死亡率の減少が見られた。しかしながら、この研究は方法論に少し問題がある。さらに、この研究ではコスト、QOLの情報がなかった。また、スクリーニングの結果により、偽陽性や偽陰性にさらされた患者に与える害に関する情報がまったくなかった。

レビューアの結論: エビデンスが限られている(たった一報のランダム化比較試験のみ)ことや、この研究における方法論的な弱点もあり、一般集団に対して視診による口腔癌のスクリーニング検査を行うことを支持するか否かについての判断するために十分なエビデンスがないと判断する。さらに、視診以外の方法によるスクリーニング、すなわちトルイジンブルー染色によるもの、蛍光イメージングによるもの、あるいは、ブラシ生検などに関して、それが有効なのか、害があるのかについて判断しうる強固なエビデンスはない。公衆衛生資源の最善の利用のために、スクリーニング方法の効能、有効性、コストパフォーマンスを評価可能な将来の高品質な研究が要求される。さらに、口腔癌の自然歴の解明、予防方法の開発や、ハイリスク患者への機会スクリーニングの効果を確かめる必要がある。口腔癌や前癌状態に対しての治療法の改善に関する将来の研究も必要である。

(翻訳 廣島彰彦・監訳 湯浅秀道; JCOHR)

翻訳公開日: 08年4月1日

Copyright(c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care
ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳の権利を受け公開しますが、訳語の間違いや誤り
点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます1。Mindsでは最新
版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新
版(英語版)の内容をご確認ください。